

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			車いすのまま活動可能であり、休息・活動・クールダウンのエリアに分けてなお余裕がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員1人に対し児童2人以下
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車いすのまま活動可能であり、スロープや手すりを備えている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		管理者・正社員の中でしっかりとした取り組みがなされている。今後、パート職員とも深めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		しっかりとアンケートを実施しているが、保護者の意向よりも児童のことを優先しているためすべての意見に対応できてはいない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		ホームページにて公開。今後、7月発行の会報にも記載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価を設けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			平成30年度、パートを含む全社員を対象に研修を予定している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		半年に一度必ず報告を行っているものの、保護者からの要望を引き出すに至れていない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	職員の感覚で行っている部分が多くあり、標準化に至っていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			管理者⇒正社員⇒パート職員がチームとしてプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			半年に一度プログラム発表会を行い、そこに向けた活動プログラムを行うことで変化をつくっている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	大きな方針は決まっているものの、目の前の対応に追われている。その日一日の課題の設定が大きな課題。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動(学習・IT・制作)と集団活動(音楽・スポーツ)を組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ずミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	支援前に前日の振り返りという形で集約している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		毎日の日誌はつけているものの、検証・改善には大きな結果を認められない。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年二回のモニタリングと計画の見直しを徹底している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			○	事業所独自で様々なイベントを活用している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		すべて最もふさわしいものが代表との判断を下している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		保護者を通し確実にしている。学校と直接のやり取りは挨拶のみ。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			必ず医師の診断書の提出をお願いしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		特定の施設とは相互理解の環境が作れている。すべての施設には至っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				施設が2年目であり、卒業生を送り出していないため未評価。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	活用できていない
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		プログラム発表会およびハロウィンにおいて交流を行った。日常的な交流においてははない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		放課後等デイサービスの団体・児童の障がい福祉団体・地域の青年活動団体の活動に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		連絡帳やライングループ、保護者会、会報、送迎時の報告などを活用しているが、課題への共通理解には至っていない。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	未実施。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者会にて説明を行い、評価表において100%の満足度を得られた。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		休みが続いたり、療育中に異変を感じた際は必ず相談し、ともに解決方法を探る努力をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		ライングループの活用、保護者会、発表会などで連携の機会を提供している。今後もっと保護者の連携を目的としたイベントを提供していく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については迅速に対応し、保護者評価について「苦情がない」といったを除き満点の評価をいただいた。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年二回の会報を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			必ず事務室の鍵付きロッカーにて保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			選択肢を複数用意し、意思を尊重する対応をとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年二回の発表会にてゲストに招いたり無料で開放する対応をとっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	次回保護者会にて保護者への周知を徹底する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年二回、避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			必ず年一回以上の研修を行い、外部講習にも一人以上派遣している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			研修にて対応を徹底しており、現在、身体拘束を行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			こちらの施設において提供される可能性のある食物に関しては、医師の診断書の提出をお願いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				○